

I 議決事項

第 1 号議案：令和 6 年度事業報告及び収支決算について

事業報告

1. 定時総会

(1)日時

令和 6 年 6 月 27 日(木) 13:30～16:45

(2)場所

レンブラントホテル大分 (2F 二豊の間)

(3)基調講演

「備えない防災」を実現する新スマート物流 SkyHub®の新たな展開と広がり

(講師: 株式会社エアロネクスト 代表取締役 CEO 田路 圭輔 氏)

(4)活動報告等:

- ・農業用水路トンネル等を安価に調査できる SLAM 機能を備えた小型 UGV の開発
(株式会社テクノコンサルタント 技術開発室 室長 小石 明 氏)
- ・ドローンビジネスプラットフォーム事業
(株式会社ネオマルス 代表取締役 甲斐 武彦 氏)

(5)総会議事

以下の議案いずれも賛成多数で可決した。

- ・第 1 号議案：令和 5 年度事業報告及び収支決算について
- ・第 2 号議案：役員を選任について
- ・第 3 号議案：令和 6 年度事業計画及び収支予算について
- ・第 4 号議案：企画委員会の委員の委嘱について

(6)交流会

【総会参加者数】 84 名 (交流会 54 名)

2. 企画委員会の開催

令和 6 年度の事業進捗及び令和 7 年度の暫定事業計画及び収支予算案等を協議した。

日程	議事
令和 6 年 7 月 22 日 16:00～17:00	①令和 6 年度取組内容について ②令和 7 年度事業に向けた意見交換 ③その他

令和6年10月29日 15:00～16:00	①令和6年度取組進捗・令和7年度取組内容（案）について ②令和7年度取組に係る意見交換 ③その他
令和7年3月18日 10:00～12:00	①令和6年度事業報告・決算報告について ②令和7年度事業計画及び収支予算について（案） ③その他

3. 事業

(1)人材育成事業

協議会会員や分科会等におけるニーズや政策動向、業界動向をもとに、ドローンの活用事例や関連技術などを学習する場として、以下の研修会（セミナー）を開催した。

また、第2回研修会後には講師を含めた参加者同士の交流会を実施した。

開催日時 (開催方法)	概要	受講者
令和6年9月20日 10:20～11:20	演題：ドローンの社会実装に向けた福島ロボットテストフィールドの活動と福島県の取り組み 講師：公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 福島ロボットテストフィールド副所長 若井 洋 氏	29名
令和7年1月24日 13:30～14:30	演題：レベル3.5や4の拡大期において事業者に求められるリスク管理及びサービス品質の管理 講師：（一財）総合研究奨励会 日本無人機運行管理コンソーシアム（JUTM）事務局次長 中村 裕子 氏	26名

(2)技術・製品開発支援事業

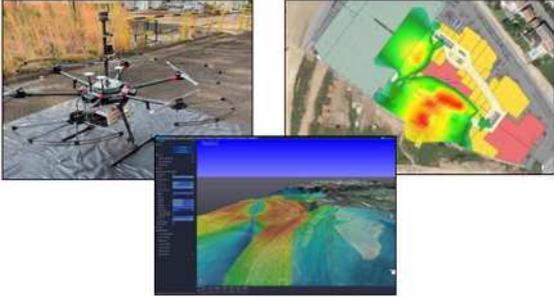
ドローン・空飛ぶクルマ関連産業の育成を図るため、機体や周辺機器、新たなソフトウェアやサービス等の研究開発に係る経費の一部を補助した。製品開発及びソフト・サービス開発に関する6件（ドローン枠：4件、空飛ぶクルマ枠：2件）の申請を受理し、審査を通じて全6件に補助金を交付した。

① ドローン枠： 補助額 500 万円以内、補助率 2/3 以内

テーマ名 (補助金精算額)	実施企業 開発品	成果概要
大分県及び九州内向けドローンショーサービスの開発 (1,572 千円)	<p>株式会社オーイーシー</p>  <p>ドローンショー風景</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県内初となるドローンショーを臼杵市で実施 ・ドローンショーの普及及びサービス開発/確立 ・今後もドローンショー実施により、地域活性化・経済発展・観光客の増加が期待される
各種ロボットを複合的に組み合わせた地下空間点検システム (4,718 千円)	<p>株式会社テクノコンサルタント</p>  <p>開発した各種ロボット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行・走行・歩行の各種ロボットを活用した狭小空間での調査システムの開発 ・SLAM 技術による自己位置推定と緩急地図の生成を実施 ・無線 LAN エリアの拡張により、通常遠隔操作できないエリアでも安定した通信が可能
多用途調査対応型 軽量 USV 開発 (5,000 千円)	<p>ビジオテックス株式会社 APEX JAPAN 株式会社</p>  <p>開発機体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水上・水中での多彩な調査・測量・その他業務に対応できるような USV 開発 ・USV 重量バランスやバッテリー簡易換装による軽量化に取り組む ・本船体は港湾エリア対応、今後は河川など多環境対応に向けて超小型 USV 開発を目指す

<p>ドローンを活用した畜産業の省力化と衛生管理の向上 (3,367 千円)</p>	<p>株式会社カジワラファーム 一般社団法人 日本ドローン協会</p>  <p>開発機体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理レベルと生産性向上のため、畜舎周辺の石灰散布や消毒作業を可能とする UGV 開発 今後は機体の性能向上（機体の移動速度等）に取り組み、養鶏農家への活用を働きかける
--	--	--

② 空飛ぶクルマ枠：補助額 1,000 万円以内、補助率 2/3 以内

<p>テーマ名 (補助金精算額)</p>	<p>実施企業 開発品</p>	<p>成果概要</p>
<p>空飛ぶクルマの安全な運航のための電波アセスメント研究 (8,741 千円)</p>	<p>柳井電機工業株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 MS&AD インターリスク総研株式会社</p>  <p>アセスメントマップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電波・GNSS・地磁気の3データ収集ドローンを独自開発 得られたデータを解析→リスクレベル評価法を開発 リスクレベルに応じた3D ヒートマップ化技術の開発 空飛ぶクルマの安全フライトに供する飛行ルート揭示技術の確立
<p>UAM の航続距離向上に寄与する電力供給システムに対する研究・試作開発 (7,146 千円)</p>	<p>株式会社デンケン 大分工業高等専門学校</p>  <p>イメージ図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハイブリット eVTOL を想定した、システム電圧の高電圧化による高効率電力供給システムの研究開発 次世代パワー半導体（SiC,GaN）を使用した、DC/DC コンバータの開発

(3)情報提供と連携事業

①県ドローンビジネスプラットフォーマー事業と連携

令和5年度までは「会員紹介 電子カタログ」を作成し、協議会ホームページに掲載してきたが、令和6年度からは、ユーザーの利便性向上及び会員の皆様のサービス等の訴求性向上の観点から県ドローンビジネスプラットフォーマー事業と連携し、当該事業支援を通じて開発されたマッチングWebサイト「おおいたドローンプラットフォーム・クロス」への掲載を推奨している。令和7年6月1日時点では36の協議会員が掲載。

②実証実験等の紹介動画の制作及び公開

ドローンによる産業上の課題解決、地域振興につながる事例や新たなビジネスの創出等を目的とし、活用の概要や効果などを分かりやすく情報発信するために、ドローン活用事例の動画を制作及び公開した。令和6年度の実施事業は大分県における物流実証プロジェクト2件について動画を制作し、公開。

実施主体	テーマ	概要
株式会社 NEXT DELIVERY	「共同配送×ドローン物流」による地域実装を見据えた長期実証事業	県内事業者によるドローン物流の地域実装体制構築を目的とした、宇佐市安心院町における「共同配送×ドローン物流」長期実証実験
株式会社 NEXT DELIVERY	～脱炭素化を加速させる新スマート物流～ ～「共同配送×ドローン物流」地域実装体制構築に向けた実証事業	新スマート物流（陸送・トラック配送×空送・ドローン配送）の仕組みでラストワンマイル配送を効率化・省人化することにより、温室効果ガス排出量を削減した物流の実現を目的とした、佐伯市宇目地域における「共同配送×ドローン物流」実証実験 ※環境省委託事業「令和6年度運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業」で実施

③情報提供

ホームページや会員向けのメール便を通じて、協議会が主催するセミナーや補助事業、協議会会員の取組などについて情報発信した。

- ・ホームページ： 事業概要、セミナーの案内・受付、補助事業の案内・受付、会員一覧、会員の取組紹介（県プラットフォーマー事業と連携、動画）、入会受付、問合せ、など
- ・会員向メール便：セミナーの開催、補助事業の公募、協議会会員の取組紹介、ドローン関連情報の紹介、大分県からのお知らせ、など

(4)分科会の開催

①観光・教育・エンタメ分科会

目的：観光・教育・エンタメなどの分野へのドローン活用に関して会員が連携して事例研究、課題の抽出、研究開発、研究成果の発表（イベント開催など）及び討議を行うことで、技術レベルの向上及び活用促進を図る。また、子どもの科学技術への興味・関心を育むとともに、地域振興への展開やドローンの普及啓発を図る。

分科会長：株式会社オーイーシー 上席執行役員 野崎 浩司 氏

分科会会員：11 事業者

日程	概要	参加者
令和 6 年 9 月 20～22 日	大分県立美術館（OPAM）において第 83 回 大分県発明くふう展の併設展示・イベント「enjoy! ドローンフェスタ」を実施。 （ドローンサッカー®体験会、ドローン機体展示、空撮ドローン VR 体験、映像放映、AR コンテンツ）	延べ 560 名
令和 6 年 11 月 24 日 13：00～17：00	ジェイリーススタジアムにおいてジェイスタ感謝祭の併設イベント「ドローンサッカー®体験会」を実施。	延べ 89 名
令和 7 年 2 月 8、9 日	るるパーク（大分農業文化公園）においてイベント「OITA Drone Festival 2025 in 杵築」を実施。 （ドローンサッカー®、ドローンクレーンゲーム、ドローン操縦スキルチャレンジ、機体の展示会、デモフライト、FPV ドローン体験会、ドローン講習会、ロケット工作・打上げ体験、ホーバー工作、玩具ホーバー操縦体験など）	延べ 2,069 名 （るるパーク 来場者数）

※この他、イベント開催に向けて、分科会の会員等での打合せ実施

②防災・減災分科会

目的：防災・減災分野へのドローン活用に関して会員が連携して事例研究、課題の抽出、研究開発、研究成果の発表（実証実験、防災訓練など）及び討議を行うことで、技術レベルの向上及び活用促進を図る。

（「災害時におけるドローンによる緊急被災状況調査に関する協定」における調査協力者の安全な飛行や効果的な動画撮影を行うためにも、平常時から技術

レベルの向上に向けた取組を行っている。)

分科会長：株式会社ザイナス 常務取締役 山本 竜伸 氏

分科会会員：34 事業者

日程	概要
令和 6 年 9 月 4 日	第 1 回防災・減災分科会 ・令和 6 年度の活動内容 ・飛行マニュアルの説明 ・質疑応答 など
令和 7 年 1 月 20 日	「災害時におけるドローンによる緊急被災状況調査に関する協定」に基づく令和 7 年度の調査協力者募集に関する説明会を開催。 ・協定の概要説明 ・災害時の調査スキーム等の説明 ・EDiSON (エジソン) に関する説明 など
令和 7 年 2 月 19 日	第 2 回防災・減災分科会 ・飛行マニュアルの説明 ・過去事例をもとに撮影ポイントの説明 ・令和 7 年度活動内容 など ※令和 7 年度から新規で調査協力者として登録のあった 4 事業者にも参加案内。

③展示会出展分科会

目的：ドローンの展示会において、会員企業の開発機体、開発システム及び開発サービスなどを連携して出展することで、集客効果を高め、効果的な販路拡大等を図る。

分科会長：株式会社オーイーシー 上席執行役員 野崎 浩司 氏

分科会会員：7 事業者

日程	概要	参加者
令和 6 年 6 月 5～7 日	「Japan Drone (ジャパンドローン) 2024 @幕張メッセ」に出展。 【参加企業】 ・株式会社オーイーシー ・株式会社コイシ ・ciRobotics 株式会社 ・株式会社テクノコンサルタント ・株式会社ネオマルス (おおいたドローンプラットフォーム・クロス)	21,273 名 (展示会来場者数)

	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ノーベル ・特定非営利活動法人まち・文化再生プロジェクト ・柳井電機工業株式会社 ・大分県及び大分県ドローン協議会 	
--	---	--

※この他、展示会出展に向けて、分科会の会員等での打合せを実施

④測量・点検・調査分科会

目的：測量・点検・調査分野へのドローン活用に関する事例研究、課題の抽出、研究開発、研究成果の発表（実証実験や展示会出展など）を行うことで、活用促進を図る。

分科会長：株式会社テクノコンサルタント 会長 伊東 修 氏

分科会会員：令和6年度は募集せず

日程	概要	参加者
令和6年6月5日	講演会（長崎県測量設計コンサルタツ協会） 「インフラ分野の測量・点検・調査先端技術等の提案」について講義	約200名
令和6年6月6日	講演会（熊本県測量設計コンサルタツ協会） 「インフラ点検における先端技術」について講義	約240名
令和6年7月1日	出前講座（大分県立佐伯豊南高等学校） 工業技術科2年生に対してドローンの操縦実技指導を実施	10名
令和6年7月12日	出前講座（大分県立佐伯豊南高等学校） 工業技術科3年生に対して西日本ロボット・ドローンセンター見学・講習を実施	10名
令和6年9月4～6日	実装見学会（モルタル法面の健全度調査）	約50名
令和6年9月26日	講演会（佐賀県県土づくりコンサルタツ協会） 「インフラ分野の測量・点検・調査先端技術等」について講義	約100名
令和6年11月8日	講演会（大分県建設技術センター） 「トンネル点検の最新技術～iTOREL～」について講義	17名
令和6年11月10日	展示会（豊後高田市河内地区総合防災訓練） 災害時に活用可能なドローン展示	約140名
令和6年12月12日	実装見学会（橋梁点検） 橋梁点検用ドローンによる点検及びイメージ	約30名

	ングソナーを装備した小型ボートによる洗堀調査を実施	
令和6年12月16日	出前講座（大分県立佐伯豊南高等学校） 工業技術科2年生に対してドローン操縦実技指導・操縦体験・プログラミング飛行を実施	10名

4. 災害時の情報収集の協力

(1) 「災害時におけるドローンによる緊急被災状況調査に関する協定」に基づく活動

令和6年8月29日に本県に上陸した台風第10号では、県と協議会の間で令和5年3月9日に締結した「災害時におけるドローンによる緊急被災状況調査に関する協定」に基づき、ドローンによる緊急被災状況調査（10箇所）を行った。

【令和6年度における調査協力者（市町村別アイウエオ順）】

市町村名	No.	事業者名	市町村名	No.	事業者名
大分市	1	株式会社NKクラフト	佐伯市	20	佐伯調査株式会社
	2	株式会社オーイーシー		21	株式会社サザンテック
	3	規光コンサルタント株式会社	臼杵市	22	株式会社大分中央コンサルタント
	4	株式会社コイシ	津久見市	23	小代築炉工業株式会社
	5	ゴードービジネスマシン株式会社	竹田市	24	株式会社大丸建設
	6	ciRobotics株式会社	豊後高田市	25	西日本土木株式会社
	7	株式会社テクノコンサルタント	杵築市	26	株式会社きとすき
	8	とびかめら	宇佐市	27	大洋測量設計株式会社
	9	株式会社伸道製作所	豊後大野市	28	株式会社共和測量設計
	10	有限会社ヒューマック大分	由布市	29	有限会社佐藤鉄工
	11	柳井電機工業株式会社		30	有限会社首藤建設
	12	株式会社幸測量設計事務所		31	精巧エンジニアリング株式会社
別府市	13	JMAドローンスクール大分会場 OITA DRONE STATION	国東市	32	九豊コンサルタント株式会社
	14	株式会社スカイ・ファイブ	玖珠町	33	公月測量設計株式会社
	15	PROGRESS-TRAIL合同会社	県外 (熊本県)	34	株式会社SYSKEN
中津市	16	株式会社SamiSamiラボ	※協力事業者不在市町村（3町村）： 姫島村、日出町、九重町		
日田市	17	有限会社測量企画センター			
	18	株式会社東豊開発コンサルタント			
	19	株式会社ノーベル			

令和6年度 収支決算

自:令和6年4月1日 至:令和7年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
会費	1,800,000	1,980,000	180,000	年会費10,000円×198社
負担金	47,744,000	42,280,289	△ 5,463,711	大分県負担金
繰越金	2,831,439	2,831,439	0	
その他	0	13,486	13,486	預金利息
収入計	52,375,439	47,105,214	△ 5,270,225	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	不用額	備 考
人材育成事業費	970,000	500,990	469,010	
報償費	250,000	100,000	150,000	講師謝金減
旅費	420,000	190,230	229,770	講師旅費減
使用料及び賃借料	300,000	210,760	89,240	会場使用料等の減
技術・製品開発支援事業費	35,000,000	30,544,000	4,456,000	
補助金(ドローン枠)	15,000,000	14,657,000	343,000	補助金執行残
補助金(空飛ぶクルマ枠)	20,000,000	15,887,000	4,113,000	補助金執行残
情報提供と連携事業費	1,500,000	858,000	642,000	
委託料	1,500,000	858,000	642,000	プロモーション動画制作費の減
分科会活動費	10,500,000	10,500,000	0	
助成金	10,500,000	10,500,000	0	3分科会(観光・教育・エンタメ、防災・減災、展示会出展)
総会等開催費	1,780,000	702,943	1,077,057	
報償費	180,000	50,000	130,000	講師謝金減
旅費	500,000	183,399	316,601	講師旅費減
食糧費	350,000	162,754	187,246	交流会費減
印刷消耗品費	50,000	0	50,000	資料印刷費等減
使用料及び賃借料	700,000	306,790	393,210	会場使用料の減
事務局経費	1,761,000	574,203	1,186,797	
報償費	50,000	16,600	33,400	審査会委員謝金減
旅費	450,000	975	449,025	事務局員調査等旅費減
食糧費	60,000	51,980	8,020	会議茶代、交流会費等
印刷消耗品費	250,000	43,966	206,034	事務用品費等(印刷費)
役務費	450,000	182,078	267,922	通信費、振込手数料減
負担金	350,000	278,404	71,596	会計事務職員負担金
使用料及び賃借料	150,000	0	150,000	会場使用料等減
公課費	1,000	200	800	収入印紙
支出計	51,511,000	43,680,136	7,830,864	
次年度への繰越金	864,439	3,425,078	-	
合計	52,375,439	47,105,214	-	